

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第2部門第4区分
【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2001-520947(P2001-520947A)
【公表日】平成13年11月6日(2001.11.6)
【出願番号】特願2000-517833(P2000-517833)
【国際特許分類第7版】

B 2 9 C 71/04

B 6 5 B 55/08

C 0 8 J 3/28

【F I】

B 2 9 C 71/04

B 6 5 B 55/08 Z

C 0 8 J 3/28

【手続補正書】

【提出日】平成17年5月11日(2005.5.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 a) 酸化性有機化合物を含む物品を提供する段階と、
b) 物品をチャンパーに通ず段階と、
c) 物品に少なくとも $100\text{ mJ} / \text{cm}^2$ の化学線量を提供するために十分な波長、強度及び滞留時間で物品をチャンパー内で化学線源に暴露する段階と、
d) チャンパーの内側の温度を少なくとも 55°F まで上げるために十分な熱源にチャンパー内で物品を暴露する段階を含む方法。

【請求項2】 a) 酸化性有機化合物を含む物品に少なくとも $100\text{ mJ} / \text{cm}^2$ の化学線量を提供するために十分な波長、強度及び滞留時間で化学線を放射するための手段を含むチャンパーと、
b) チャンパーの内側の温度を少なくとも 55°F まで上げるための手段と、
c) 物品をチャンパーに出し入れするための手段を含む装置。

【請求項3】 チャンパーの温度を上げるための手段が、
i) 熱送風機、
ii) 熱銃、
iii) 赤外線ヒーター、
iv) 空気循環システム付き温度調節カートリッジヒーター、及び
v) チャンパー内雰囲気と熱交換する密閉熱流体循環システムから選択される請求項2に記載の装置。